



いたびつ 板櫃 <校訓> 真理の探究 自主躍進

令和6年4月12日(金)発行
校長 栗原博巳
北九州市小倉北区白萩町8番1号
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>
自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～
<目指す生徒像>
①「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

令和6年度 板櫃中 第70回入学式が挙行されました！

昨日までの曇天が嘘のように、春の日差しが戻ってきた4月10日(水)、北九州市立板櫃中学校第70回入学式が本校体育館で行われました。

新入生のみなさん、入学おめでとう。みなさんは、小学6年生として、それぞれの小学校で、小学校生活の最後の1年間を頑張ったと思います。今からは板櫃中学校の生徒となりますが、みなさんは何も心配する必要はありません。板櫃中学校の先生方は、中学校3年間ではなく、義務教育9年間の最後の3年間として、みなさんを愛情をもって指導します。小学校で頑張ったことを胸に、中学生として自覚をもち、いろいろなことにチャレンジしてください。

そのために大切なことの一つは、(小学校の説明会で話しましたが)「指示待ち人間にならない」ことです。6年間小学校で頑張ったことを生かし、自分を変えながらも板櫃中の生徒として努力してください。期待しています！



【令和6年度 北九州市立板櫃中学校 第70回入学式 学校長式辞】

生命の息吹がみなぎる希望の季節を迎え、北九州市立板櫃中学校に入学する皆さんの新しい出発の日に大きな希望を感じさせます。

このよき日に、本校PTA会長 内田具亨様をはじめ、ご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席のもと、本校第70回入学式を執り行うことができますことに、心よりお礼申し上げます。

152名の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。板櫃中学校の生徒として、胸を張り、目を輝かせているみなさんの顔には、中学生になった喜び、これからの中学校生活に対する「希望と決意」が満ち溢れています。どうぞその気持ちを、3年間大切にもち続けてください。

板櫃中学校には、「真理の探究・自主躍進」という校訓、「自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成」という学校教育目標があり、昨年度から、「規律、感謝、情熱」の合言葉を皆さんの学校生活のスローガンとして、よりよい学校づくりを目指しています。

まず、「規律」ですが、当たり前前の方が当たり前前になることができます。挨拶や掃除、時間、宿題など決められたことはきちんと守り、当たり前前の方を前へ進んでいくきれいな心をもつ人になってほしいと思います。

次は「感謝、思いやり」です。「いじめをしない、許さない強い意志をもち、困っている人がいたら、勇気をもって手を差し伸べる。そして、一人一人の友達、家族、先生方、地域の皆さんを大切にしてほしい」ということです。学校生活の様々な場面で友達の考えを認め合ってください。

最後は「情熱」です。一時間一時間の授業を大切に一生懸命受けてください。そして、板櫃中学校の生徒としての自覚と誇りをもち、学校行事や部活動、生徒会活動などに自ら進んで全力で取り組んでください。

今日から始まる中学校の3年間に、一人一人が自分の可能性を信じて夢をもち、自分から学び、自分で考え、行動してほしいと思います。中学校から先は、みなさん自身の手で未来を切り拓いて

いかなければいけません。そのために必要なことの一つが自分自身を変えることです。進化論を唱えたチャールズ・ダーウィンは「最も強い者が生き残るのではない、最も賢い者が残るのでもない、唯一生き残るのは変化できる者である」と言っています。過去の自分を見つめ直し、今日から、自分を変えることが必要です。今、この瞬間からが自分を変えるチャンスです。自分自身を大切に、友達を大切に、家族を大切に、そして学校生活の一瞬一瞬を大切にしてください。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学を、心からお喜び申し上げます。本日より大切なお子様を3年間お預かりいたします。全職員一丸となり、全力を注いで教育にあたっていきます。どうぞ本校の教育へのご理解と、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に新入生のみなさんにウォルト・ディズニーの言葉を紹介いたします。

「夢をかなえる秘訣は、4つのことばに集約される。それは、「好奇心」「自信」「勇氣」そして「継続」である」

どんなことにも、前向きに挑戦し、ゆるぎない自信をもち、優しさという勇氣を大切に、中学校時代を駆け抜けてほしいという願いを込めて、式辞といたします。

令和6年4月10日 北九州市立板櫃中学校 校長 栗原博巳



【保護者の皆様へ】

新入生は、たくさんの出会いに対する喜び、新しい生活への期待や不安など、様々な想いを胸に入学式に臨んだことと思います。板櫃中学校では、新入生が一日も早く学校に慣れ、安全で安心して学校生活を送れるように、上級生や先生方が心を込めて準備をしています。

保護者の皆様には、新入生の新たな門出を祝い、学校・家庭・地域が一体となって全力でサポートしながら、成長を見守ってくださるよう心よりお願いいたします。昨年度、板櫃中では、生徒も、学級・学年活動や行事に目標をもって取り組み、非常に高い教育効果を発揮いたしました。ぜひ、本校の教育活動についての理解を深めていただければ幸いです。

入学式、卒業式、文化発表会、体育大会といった中学校の活動ですが、これらを含む学校行事は、よりよい人間関係を築く力、公共の精神や社会性の育成が主な目標であると、学校指導要領に示されています。(昨年度掲載内容 一部改)

中学校における学校行事は①儀礼的行事、②文化的行事、③健康安全・体育的行事、④旅行・集団宿泊的行事、⑤勤労生産・奉仕的行事の5つがあります。

→学校行事は、生活の充実と発展が目的

学校行事は全校や学年といった集団単位で行なう実践的な活動です。入学式や卒業式といった儀礼的行事や、文化発表会、体育大会に見られる文化的行事などは、いずれも学校が計画して実施し、生徒が参加協力することで行なわれる教育活動と位置付けられています。

生徒は学校行事という体験活動を通し、所属する集団への所属感や連帯感を深め、また異学年や地域との交流協力によって自主的、実践的な態度を養います。

→儀礼的行事、文化的行事、体育的行事とは

中学校学習指導要領において、学校行事の内容は以下のように示されています。

「全校または学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行なうこと。」式典などの学内活動においては、以下のように設定されています。

儀式的行事

「学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行なうこと」

入学式、卒業式、始業式、終業式、修了式など、全校生徒及び教職員が一堂に介して行なわれる教育活動を主に指します。実施の際は厳粛な雰囲気を保つようにし、生徒は互いに祝い、励まし合い、喜びを分かち合うことで連帯感を育み、愛校心を高めます。